

平成 30 年度岩手県中部保健所運営協議会会議録（概要）

- 日時：平成 30 年 6 月 7 日（木）18 時 30 分～20 時 00 分
- 場所：北上市芳町 2-8 北上地区合同庁舎 2 階大会議室
- 出席者：別添委員名簿のとおり 31 名（委員出席 19 名、代理 4 名、事務局 8 名）
- 傍聴人：2 名（報道機関 2 名）
- 会議内容

1 開会（千葉次長）

〈会議成立報告：委員 24 名中 16 名の出席〉

※議事開始時には委員 19 名の出席

2 挨拶（柳原保健所長）

本日はお忙しいなか、本協議会に出席いただきありがとうございます。

また、委員の皆様方には日頃からの岩手中部保健医療圏の保健・医療・福祉・環境衛生の各分野において、それぞれの立場から予防推進にご尽力いただいていることを、あらためて感謝いたしたいと思います。

さて、本日の協議会でございますが、今年度の運営方針についてご協議いただきたいと思っております。

今年度は保健所も欠員等により更に厳しい体制ではありますが、許認可事業に基づく監視指導を着実に実施していくとともに、必要である様々な給付事務を適正に実施するほか、感染症対策とか、精神科救急においても迅速な対応に努めていきたいと考えております。

また地域における健康医療、環境衛生分野における諸課題についても県の方針に基づいて、取り組むべき事項を重点的に施行していきたいと思っております。

このような方針について、主要な事項を中心に説明し、委員の皆さんから御意見いただく形で御協力いただければと思います。本日は宜しくお願いいたします。

3 委員紹介（千葉次長）

人事異動等で新たに委嘱になった委員を別添名簿順に紹介

4 議事

条例第 4 条第 2 項の規定により、会長の北上市長が議長となり議事を進行した。

(1) 平成 30 年度運営方針について

資料 No. 1・2 に基づき、事務局から説明の後、次のとおり協議等が行われた。

（説明者：阿部主幹兼管理福祉課長、阿部技術主幹兼保健課長、三浦技術主幹兼環境衛生課長）

○花巻市佐々木副市長

当地域では、ICT を活用した診療情報共有システムを開始していて、北上市でもそうですが、花巻市でも住民への PR に努めています。保健所でも今まで以上に頑張りたいと思います。2020 年に全国規模の医療情報ネットワークに繋がって行くかもしれないという話があるようですので、それにうまく繋げる形で指導をいただきたいと思っています。

次に、病院の二次輪番制の関係です。花巻市にある岩手医科大学附属花巻温泉病院が、来年の春に閉院するという事です。今まで病院群二次輪番制をやっていたのですけれども、温泉病院が抜けた中でこの地区の病院輪番制を回さないといけないという

ことになります。そのためには早めに保健所で音頭を取って対応して頂きたいということです。

それから、先程の説明の中にもありました医療人材の確保についてです。養成策として昨年度は3回程セミナーが実施されているようですけれども、今年度特別な動きはあるのか教えて頂きたいと思います。

最後に、在宅医療の話です。これについては、医師会さんにも頑張ってもらっているところですが、更にこれを広めていかなければならない中で、在宅医療を支える地域医療の在り方という意味で、市町村も頑張るが、やはり保健所に頼る部分もありますので協力をお願いいたします。

○遠野市鈴木部長

今年度、自殺対策アクションプランとして、市町村の自殺対策計画策定を義務付けられていますが、全庁的な体制ということがその策定の中に条件としてあるようです。このあたりを着手したところですが、何かしら保健所の支援という部分でもお願いしたいところです。こちらからもご相談には行きますが、具体的な計画というものはあるのでしょうか。

次に、災害対策医療について、市町の防災訓練との連携による情報伝達訓練の実施とありましたが、災害担当のほうにも話が通っているのか具体的なものが何かあれば教えていただきたいと思います。

○西和賀町深澤課長

自殺予防の計画のことについて、庁内で関係者とプロジェクトチームを作り、計画を策定しているところです。正式な機関に諮りながら計画を策定していきたいのでご指導を宜しくお願いいたします。

○花巻市医師会長

感染症対策について、大流行が予想される感染症については準備が必要であろうと思います。例えば、この前、麻疹（はしか）の流行が話題になりましたけれども何も無くてよかったのですが、いつ起こるか分からない新型インフルエンザなど、その注意喚起は常に必要だと思います。年に一度程度は、医療機関への準備勧告をした方がよいかと思います。保健所のほうも準備をお願いしたいところです。また、現在は感染者の移動によってあっという間に世界中に感染が運ばれる時代です。花巻には、花巻空港という空の玄関口がありますので、海外から航空便があった際にはしっかりとした検閲ができているかどうか、警備対策が必要だと思うのですがどうでしょうか。

○北上医師会長

皆さんのお手元にあると思いますが、北上医師会では毎年市民公開講座でどういうテーマでお話するか考えております。今年は、減塩をテーマにさせていただきました。元国立循環病センターの監修で日本で一番美味しい病院食と言われたところの、今は刀根山病院にいらっしゃる管理室長の村井先生をお招きして講義いただくこととしております。その前に北上済生会病院脳外科の柴内先生から減塩ということでお話させていただきます。6月23日(土)午後2時からですので、皆さんお誘いあわせの上、お越しただいただければと思います。

減塩と脳卒中が結びついていますが、脳卒中の原因は減塩だけではありません。喫煙も大きなリスクです。今のところ喫煙者をいかに禁煙させるかということに重点がいきがちですが、受動喫煙が非常に大きな問題だと思います。特に子供は自分で受動喫煙を

避けることができません。子供の前でタバコを吸うことは虐待に当たると思いますが皆さんはどうお考えでしょうか。学校、保育園、幼稚園、医療機関は施設内禁煙ですが、それを進めるには、もっと公共の場でも喫煙防止、禁煙の場を広げていただければと思います。これは医師会の力だけではなく、行政の力を借りて進めていただきたいと思います。

○遠野市医師会長

遠野市は、まだ自殺防止計画はあまり進んでいないとの情報を聞いています。現場にいますと、お客さんや企業者からメンタル面で相談され、どこか紹介して欲しいと相談されますが、市内で解決することが出来ません。精神疾患専門医はあるが、メンタル面となるとなかなか紹介しにくいところもあります。花巻や北上を紹介することも多々あります。実際紹介すると1ヶ月待ちがほとんどですので、相談の地域連携など事業をもう少しスムーズに進めていきたい。自殺対策ネットワークがあるのも存じていますが、なかなか現場には届かないところもあります。そこを利用するほど重症ではないのですが、その方を助けてあげたいと思うときにすぐに行けないこともあります。幸い一人は1ヶ月待ちで何とか行けてる方もいますが、地域的な欠点もありますので、これからも中部ネットワークを通してお願いしていききたいと思います。

○花巻市歯科医師会長

生涯を通じた歯科保健ということで今年度も計画がありますが、実は一番弱い部分は、皆さんご存知だと思いますが、成人の部分です。これは法的なバックボーンがほとんどありません。高齢者や乳幼児は法的に担保されている部分があります。私たち歯科医師会の団体もそうですけれども、成人の部分の歯周病や予防の推進は、うまくいっていないとはいいいませんが手薄なところがある。昨年度、保健所で「成人に対する出前講座」を10回程度やっていたと思いますが、今後も、是非とも宜しく願っています。

○北上歯科医師会長

6月3日に北上市では歯と口の健康週間ということで、江釣子ショッピングセンターでイベントを行いました。その際に保健所にもお世話になり、ありがとうございました。今年度は11月に「いい歯の日」として、県の歯科医師会主催で北上市にて行う予定になっていて、その際にも保健所に協力をお願いしたいところです。

次に、遠野市でフッ化物洗口を行っているという話ですが、卒園した方が小学校に入ると思いますが、その後の追跡調査をやられているのでしょうか。フッ素洗口している園児と、してない園児との違いというのは、はっきりと出てくると思うのでそのところを宜しく願います。

○遠野市歯科医師会長

昨年度、今年度とフッ化物洗口事業を展開していただきありがとうございました。今年度で遠野市内の保育園、幼稚園の全施設が実施できるということで、今後は市の事業としてずっと継続していきたいと思います。それから今もお話ありましたが、その後の問題ですね。今度は教育委員会との絡みが出てきますが、出来れば小学校のほうにも導入していきたいと考えています。

それから、個人的なことですが、私はある介護老人保健施設の嘱託医をしていて、毎月新規入所の方の健診をすると、口腔ケアの介入が必要な方がかなりいます。私の所の施設では、今月、また研修会をやりますが、当初は介護職員の方も口腔ケアの知識に乏しい方が沢山いらっしゃいます。一から指導するというところで困ったりします。他の施

設でもそういう不安を抱えている介護の方が沢山いらっしゃると思います。誤嚥性肺炎防止等の観点からも、口腔ケア従事者の研修会をもう少し拡充していただければと思います。

○花巻市薬剤師会長

生活習慣病予防対策に関して、昨年と同様に家庭血圧の重要性の普及ということで、血圧手帳の配布を出来るだけしていこうと思っています。

それと自殺予防対策推進のことですが、毎年、薬と健康の週間中にイベントを開催していて、その時に啓発活動などでリーフレットを配布しています。その他にクリアファイルも配布していますが、長い間中身が変わっていないようで、出来れば岩手県独自のリーフレット等を作成して配布してもいいのではないかと思います。

○獣医師会花巻支会長

狂犬病予防事業をやっています。特に開業医の先生方に依頼し、予防接種をしていますが、大変順調にしています。各市町のスケジュールで間に合わないときは、診療所に連れて来てもらっているという状態です。今後とも宜しくお願いします。

動物愛護週間行事、9月ですけれど、花巻市と北上市で持ち回りでやっていますが、今年は北上市のホームマックを借りてやりたいと思いますので、その際は宜しくお願いします。

○中部病院院長

二次輪番制について、岩手医大花巻温泉病院が廃止となるが、2月まではやるということでしたけれども、その中で実際どういうことが、どういう状況なのかという事をできれば公平な立場で保健所から情報を出してもらい、二次輪番制というのはどのように機能しているかという事を明らかにしていただきたい。

それから、どうしても利用者側に救急病院や、その類の使い分けを説明すると、患者さんは病院に来るなというように捉えがちですので、出来れば行政の立場で公平な目で、病院や救急室の使い方を市民の皆さんに提示していただくと良いのではないかと思います。

それから、HACCP（ハサップ）の話が出ていましたが、HACCPは英語で書いておいた方がいいのではないのでしょうか。多分、皆さんの中では分からない方もいらっしゃるのではないのか。略語を使うのは良いですが、必ずフルで書いておいたほうが良いと思います。これは大量調理施設の関係で言われていることで、これに則った形で病院では対応するものです。

○遠野病院院長

病院としては非常に人手が足りないということで、人材育成ということに大きな関心を持っています。保健所のほうで医療職進路選択セミナーを積極的に開いていますが、それに関しては病院側では100%以上の取組をしたいと思っています。

それから、病院の大きなテーマとして医療安全というのがありますけれども、現在の職員たちの資質向上ということで、大きく医療安全と人材育成を進めていきたいと思っています。

それから、遠野市は比較的在宅医療が進んではいるのですが、まだまだ看取りの部分まで進んでいません。在宅での看取り、施設での看取りを含めてACP（Advance Care Planning）を地域の方々に進めていきたいと思っています。各地区に今回10回くらい出向

いて今年のテーマとしてはACPについてのお話もしたいと思っています。保健所からも在宅、看取りというところにも大きな流れを作っていたらと思います。

○ケアハウスエスカール園長

今後、介護や医療が必要になることは想定しています。ですから、世代を超えた地域の繋がりの中で、安心して暮らすことが出来、自分らしく生きることが出来るよう、地域包括ケアシステムが機能する、そしてそれがとても大事だということは言うまでもありません。しかし、もっと大事なのは、医療・介護・地域・本人・家族の顔が見える関係づくりだと思いますので、宜しくご指導いただきたい。

○日高見訪問看護リハビリステーション管理者代理

生活衛生の推進に施設等の監視指導とありますが、老人世帯や独居世帯、老々介護をしたり、お互いに障害者だったりして、家庭の環境衛生が良くない世帯が多い。そこでいろいろなサービスを使いながらも少しずつ環境を整えたりしているのですが、それでもなかなか環境衛生状況が良くない。まして経済的にも恵まれていないと、水道を止められたりとかいったことがあり、なかなか環境をよくしてあげることも難しい。もし保健所でも個人宅に介入できることができれば、そういうところの情報を拾っていただいて、何か良いサービスや指導をしていただき、環境衛生のほうで手伝っていただけたらと感じています。

○介護老人保健施設まつみ事務長

介護老人保健施設の人材不足について、介護士が不足していることは知られていますが、看護師も非常に不足しております。特に、夜勤と土日の勤務をしてくれる看護師が非常に不足しています。中学生、高校生を対象とした様々な活動をしてもらっていますが、出来れば即戦力となる潜在的な有資格者の職場復帰もお願いしたいと思っています。

○食品衛生協会遠野支会長

遠野はご存知のとおり遠野物語のふるさとです。また、台湾との交流も促進されています。昔話の里のようにきれいで観光客の方が多い地域です。諸外国からの観光客が非常に多くなりました。そういう関係で保健所の指導の下に食品衛生指導員が1度や2度、3度と食品の安全のために巡回しながら努めてまいりまして、無事故・無違反だったことを報告させていただきます。更にこれを進めていきたいと思っていますので皆さんの協力をお願いします。

○北上市保健推進員

日頃、住民の健康を守るということで活動していて、地域での健康祭り等を毎年実施しているんですが、高齢者は結構来るのですけれども、若い世代がなかなか来ない現状のため、どのように集客していったら良いか考えています。保健課で事業所と連携して血圧管理の充実を図っていくということですので、保健所でも事業所の若い世代の人たちへの働きかけをお願いしたいと思っています。

○花巻市食生活改善推進員

脳卒中死亡ワーストワン1から脱却ということで、「突撃！隣のおみそ汁」として3年活動してまいりました。男性はお蔭様で脱却したのですが、女性がまだワースト1です。そこで今年は、塩分摂取量簡易測定器「減塩モニタ」を使用し、朝から実施することになっています。朝起きた時の尿を塩分測定器で測り、毎日の献立を書くということ

を県内全体で実施することになっています。

それから、若年期からの健康的な生活習慣の形成と支援ということで、日本食生活協会事業の中で、若年期・働き盛り・高齢者という3つの世代への食育の指導が今年度も行われます。学童の子ども達から、高校生、高齢者のサロンなどでいろいろと食育の活動をしていきたいと思います。

それから個人的なことですが、感染症に関することです。孫の中でも帰宅すると手洗い、うがい、手指消毒する子だけが、ノロウイルスや急性胃腸炎に罹らなかった。このことから見て、保育園・幼稚園・学校・職場などでも、手洗い・うがい・手指消毒などの徹底を保健所からもしっかり指導していただき、家庭でもやっていたら感染症から守られるのかなと思いました。

○遠野市社会福祉協議会

当協議会は福祉の町づくりをより市民サイドで実現することを目指す福祉団体だと思っています。住民が減少している中で、それを目指すには一人一人の支え、助け合いが重要になっていると感じています。併せて、地域の方と連携しながら介護保健事業も管理しています。保健所には、協力も指導も受け感謝しています。命燃え尽きるまで住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けるにはどうしたら良いか、ということのを皆と考え、考えたことを実践していきたいと思っています。

○北上地区消防

感染症に関してですが、平成28年度、県と消防で感染症患者の移送に係る協定書を締結し、新型インフルエンザ等の感染症患者移送時の協力体制が出来ています。

昨年度は、保健所が新型インフルエンザ等の対策研修会を開催し、研修を受けました。

今年度の予定を見ると、搬送等の実施訓練を計画しているように見受けました。消防としてもアイソレーターは使用したことのない器具です。搬送訓練に関しては出来れば年に1回、毎年継続してお願いしたいところです。保健所管轄内で訓練するという事ですので、遠野消防、花巻消防、北上消防と併せて継続していただければ、感染症患者が発生しても基礎体制がスムーズに出来るのではないかと思いますので宜しくお願いします。

○花巻警察署

普段から保健所とは強い繋がりの中で対応していただき感謝しています。

警察では、薬物乱用防止教室等各世代に向けた部分に対応させていただいています。非行防止教室等も随時実施していますので、多角的な部分で広報していきたいと思っています。日々の取り扱いで感じていることですが、精神障害のある方が犯罪を犯すこともよくあり、中にはアルコール依存症や性格異常と思われるようなところが原因で犯罪を犯す方も多くあるので、医療と司法の狭間でどのような対策ができるのかというのを今後も連携を取り合いながら対応していきたいと思っています。

先程も話が出ました、独居世帯に対する対応は警察でもしています。やはりお金の面で施設を頼れない方や、家族の協力が得られなくて独居状態にある方、引きこもりのご家族など、色々な問題を抱えている御家族の方がいて適切な医療を受けられないパターンもよくあります。そのあたりも連携しながら対応していきたいと思っています。今後とも宜しくお願いいたします。

【事務局】

○阿部管理福祉課長

- ・病院群輪番制

岩手医科大学附属花巻温泉病院の閉院ということがあるので、早い時期に会議を開催し、意見交換を行いながら検討していきたいと考えています。

- ・医療人材確保セミナー

昨年度と同様に実施する予定です。

- ・災害医療

昨年度は大規模な災害が発生したという想定で情報訓練を実施しました。聞くところによると、各市町でも防災訓練を実施しているということなので、その時に想定されている災害規模、被害想定の情報に基づき、保健所に情報提供していくような連携した形での訓練ができないかと考えています。今後、具体的に声かけをさせていただきたいと思えます。

○阿部保健課長

- ・自殺対策

平成 30 年度までに作成を義務付けられた市町の自殺対策計画について、市町の取組みにばらつきがあります。保健所としては、市町の担当者レベルの集まりを持ちながら、進んでいるところの話を聞くなどの情報共有の場を何回か持つことが必要ではないかと考えています。また、モデル事業で出来上がっているところの資料を配布して、参考としていただくという形での支援を出来ればと考え、6月4日にも市町との集まりを持ったところで、何かあれば保健所にと話をしているのでよろしくお願いします。

- ・精神保健福祉

精神科、メンタルの関係ですが、管内のメンタルクリニック・医療機関は普通に予約を入れると1ヶ月待ち、2か月待ちとかの状況となっています。警察関係の緊急案件は、警察からの連絡を受けて保健所が入って医療機関調整をしているということがあります。そういう案件でない場合は、かなりの待ち時間が出ているという状況になっているようです。

一つの対策としては、保健所で毎月精神科の先生にお願いし、北上市、花巻市、遠野市で精神保健相談を行っているので、そこで相談を受けていただければと思います。早急に治療が必要だと先生が判断すれば、少しは早く診てもらえるという事例も出ているので、そういう事業も活用していただければと思います。

- ・歯科保健

フッ化物洗口支援事業については、平成 29 年度から始めたところですので、追跡調査は必要と考えております。一つは就学児の健診結果と12歳児の虫歯の状況などということ、見れるのかなと考えているところです。どのような形で進めたらよいかということも御指導をいただきながら進めていきたいと考えています。

従事者研修会の拡充についてですが、昨年度、介護支援専門員の方にアンケート調査を実施したところ、歯科への連携、つなぎはとても大事だとのことでしたが、つなぎ方が分からないとかどうしたら良いかわからないという声を多くいただいたので、介護施設に従事している方の研修会を継続しながら、知識とか関係機関へのつなぎ方とか、情報共有の持ち方など、昨年のアンケート結果を生かしながら研修会の中身を検討していきたいと思えます。

- ・自殺予防対策

リーフレットについては、少し目を引くような物を検討したいと思えます。

- ・生活習慣病予防

事業所との連携ということで、若い人への働きかけについて意見をいただきました。保

健所では出前講座等で事業所へ伺っているので、そういう機会を利用して若い人へ脳卒中の現状とかを話しながらか働きかけをしていきたいと考えています。

- ・感染症予防

手洗い・うがいは基本的なことです。子どもを含め家族で基本的なところを徹底していただくと良いです。保育施設の先生方にも子どもならではの上手く手洗いができないとか、トイレの後に手を洗わずベタベタ触るとか、そういうこともあってすぐ流行になってしまうので、そういう具体的な事例も紹介しながら、先生方にもより基本の大切さを分かっていたくような研修会にしていきたいと考えています。

感染症の搬送訓練は、年1回継続していきたいのでよろしくお願いします。今年度の訓練のシュミレーションはこれから詰めるところです。併せてアイソレーターの操作研修とか基本的なことであるがPPE着脱訓練も計画しています。消防機関へ声掛けするので、可能な限り協力参加をお願いします。

○三浦環境衛生課長

- ・狂犬病予防

市町の協力を得ながら管内9割を越える実績があります。高齢な犬や病気の犬もいるので100%というのは難しいところですが、今後も協力させていただきながら実施させていただければと思います。

- ・食品衛生

HACCPの表記について、大変失礼しました。Hazard Analysis Critical Control Pointの略ですが、次回からそのような表記としたいと思います。日本語にすれば、危害分析重要管理点とか言われています。大量調理マニュアルについては、この考え方に基づいて管理がなされているものです。

- ・環境衛生

当課は、環境衛生課なのですが、なかなか各個人については、相談いただいた分は技術支援として、どういう技術を持っているか、どういうところの業者があるか説明は出来ませんが、入り口の部分については別な担当となると考えます。具体的に、こういう状況で家庭内の生活環境、環境衛生で困ったとかいうことがあれば、保健所でも相談に乗り、必要であれば協力していきたいと思います。

- ・食品衛生の推進

食品衛生指導員の巡回指導について、本当に毎日ご苦勞様です。今後とも協力させていただきながら一緒に取組んでいきたいと考えています。お蔭様で平成29年は、管内の食中毒0で、平成24年以来となっています。今後とも衛生管理にご協力いただきながら取組んで参ります。

- ・薬事衛生の推進

薬物乱用防止研修会について、いつも（花巻警察署に）お世話になり感謝しております。保健所でも実施しているところですが、やはり警察署に声が掛かることが多いのかなと認識していますが、役割分担を持ちながら一緒に進めさせていただきたいと考えています。

(2) その他

北上医師会長から次のような発言があった。

○北上医師会長

毎回この会議ではいろいろな意見が出て参考となりますが、条例だからなのか協議会の目的が何か書かれていません。規約とか定款では、この会は何々を目的として開催するとか書きます。そういう目的がはっきりしていないので、いつも広がりがあります。広がりがあるのは良いけれど、広がりすぎてぼやけてしまっているものもありますので、もう少し目的を明確に打ち出せば良いのではないかと思います。

○議長（北上市長）

おそらく、地域保健法第11条の規定の中にあると思われませんが、そこらへんのところの説明をよろしくお願いします。

○千葉次長

保健所運営協議会については、地域保健法に基づいて設置されているものです。具体的な中身については、条例で記載しているところです。設置の主な目的の一つは、保健所の運営について、皆様方の御意見をいただき事業に反映させていただくこと。それから、もう一つは日頃の保健所の活動について皆様方にご紹介し、御理解をいただくというものです。大きく言うとこの2点になろうかと思います。今後とも引き続きよろしく申し上げます。

5 閉会（千葉次長）